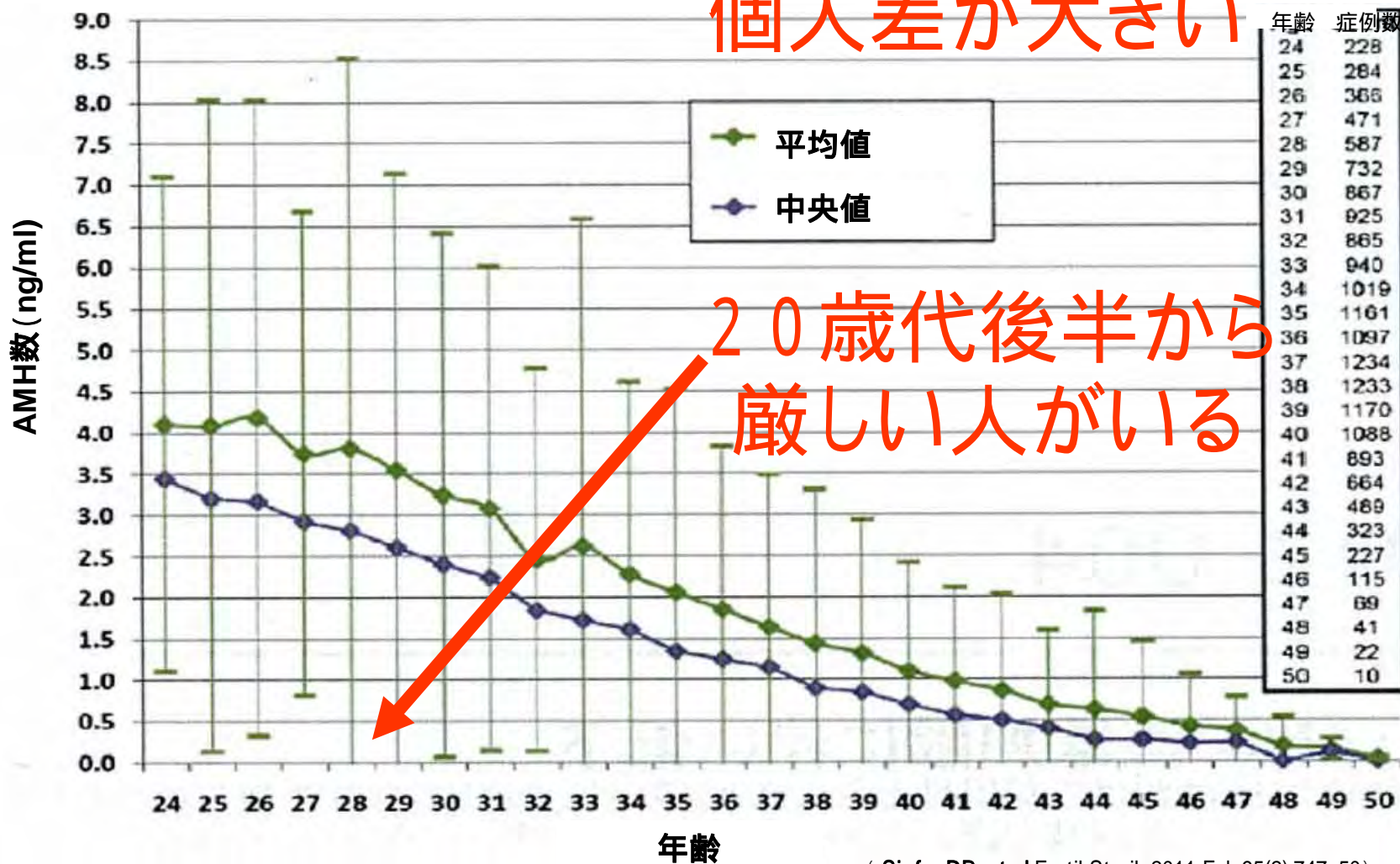


年齢とAMH値

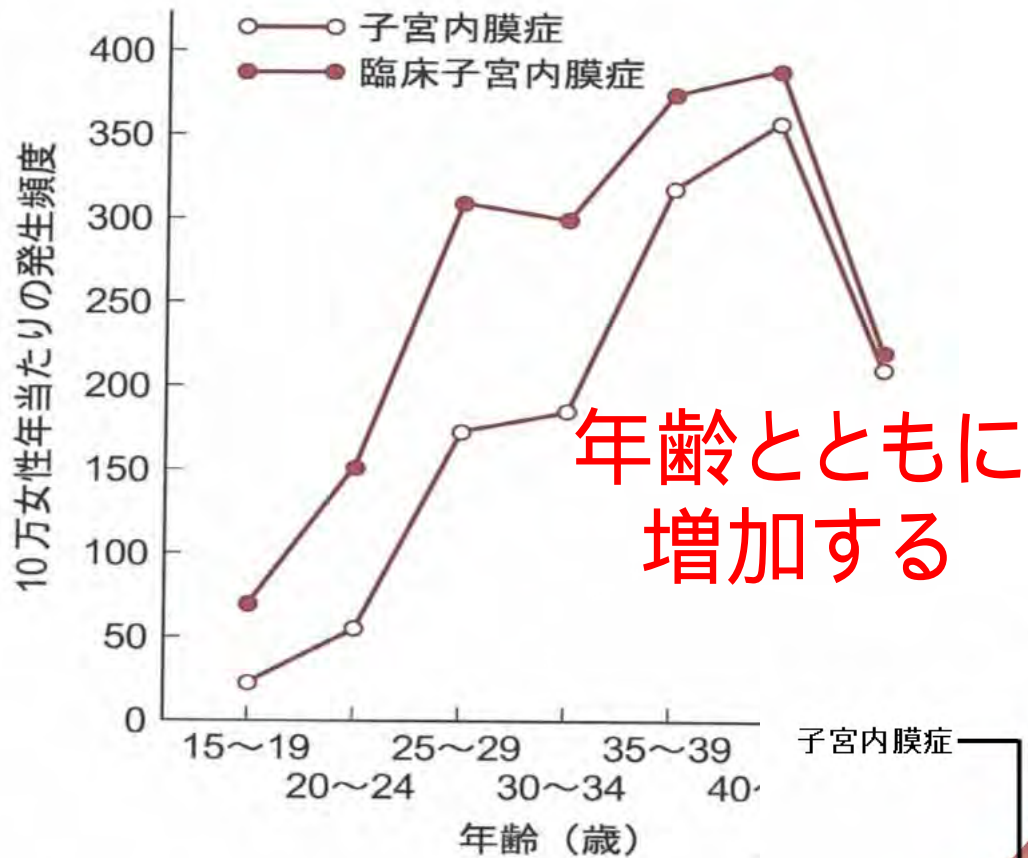
抗ミュラー管ホルモン (AMH) は
卵巣内の卵子数を反映する

卵子の数は
個人差が大きい



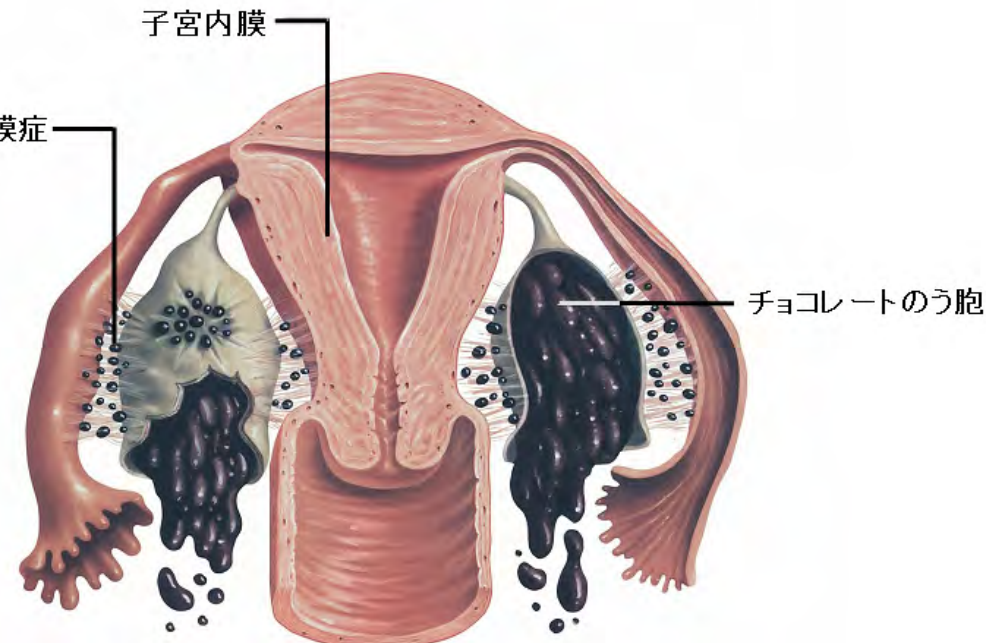
(Siefer DB, et al Fertil Steril. 2011 Feb;95(2):747-50)

子宮内膜症 (不妊原因の一つ)



妊娠出産は月経回数を減らすとともに、妊娠時のホルモン変化は、すでに発生していた子宮内膜症を治療する。

(Houston DE, et al: Clin Obstet Gynecol 1988;31:787-800)




妊娠出産に適した時期

1. 女性の加齢と
妊娠する能力の変化
2. 母体の加齢と
妊娠後の合併症
3. 男性の加齢と
妊娠する能力の変化

母の年齢と自然流産率

年齢区分	妊娠例数	流産例数	流産率 (%)
24歳以下	90	15	16.7
25 ~ 29歳	673	74	11.0
30 ~ 34歳	651	65	10.0
35 ~ 39歳	261	54	20.7*
40歳以上	92	38	41.3*
合計	1,767	246	13.9



* 25 ~ 29、30 ~ 34歳の群と比較して有意差あり ($p < 0.01$)

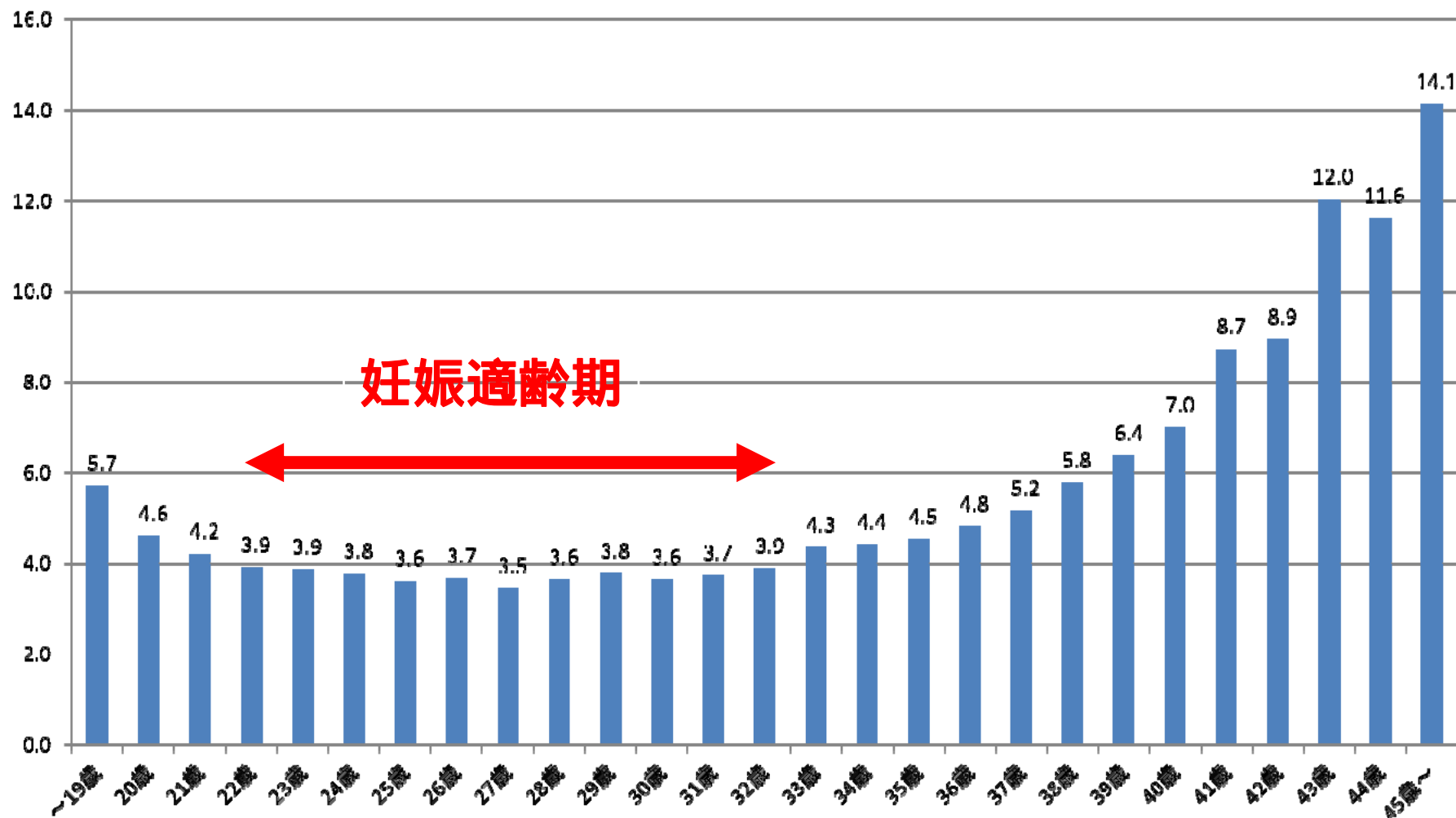
資料: 虎ノ門病院産婦人科 1989.1. ~ 1991.7. データ

母体年齢と流産 周産期医学 vol. 21 no. 12, 1991-12

年齢別にみた周産期死亡率(出産千対)

(平成19 - 23年の平均値)

単位 件数/出産千対



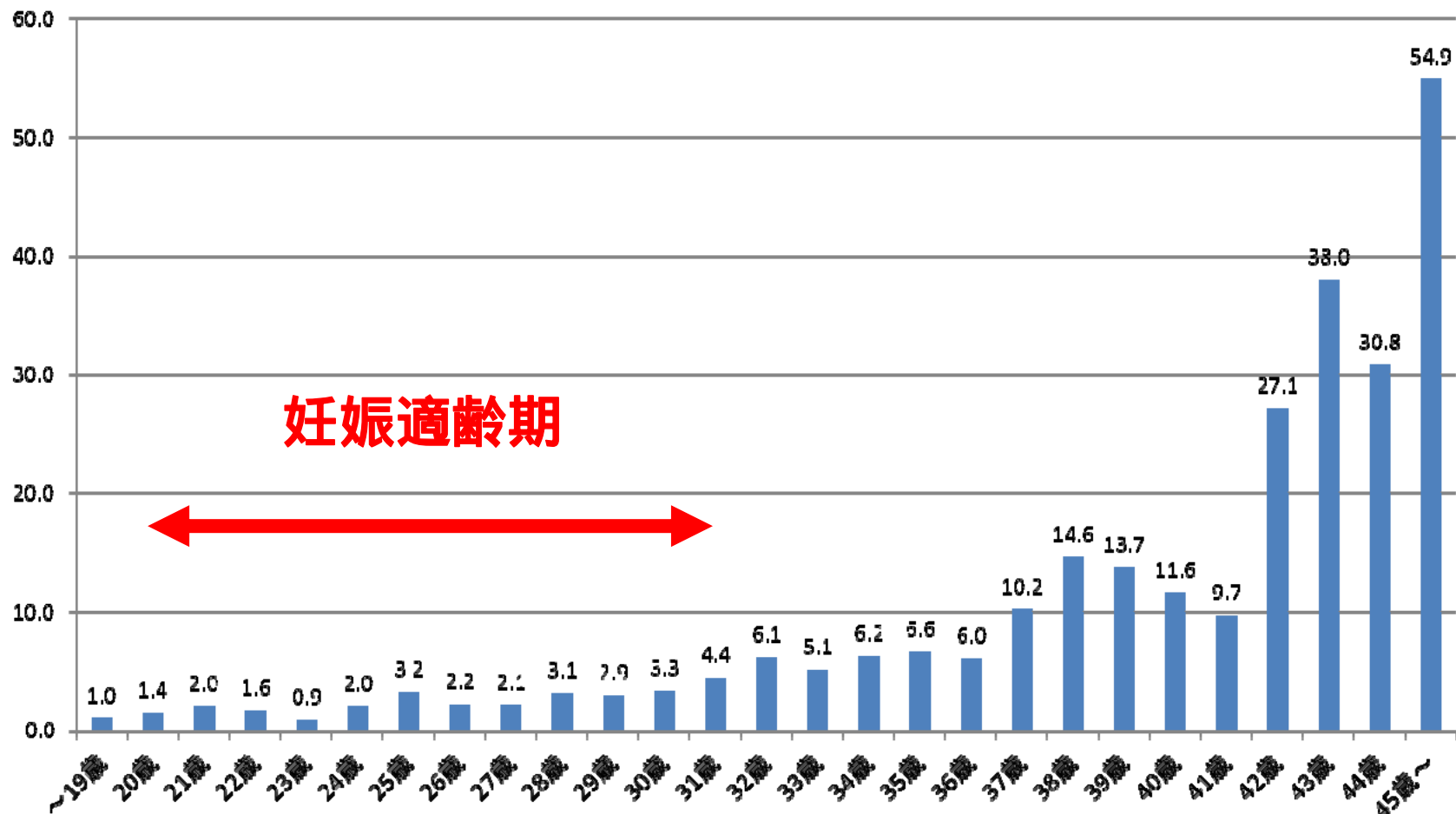
注: 1) 周産期死亡率は、一年間の周産期死亡数(妊娠満22週以後の死産数+早期新生児死亡数(生後1週間未満の死亡数))を一年間の出産数(出生数+妊娠満22週以後の死産数)で割ったもの(出産千対)である。

(厚生労働省人口動態統計の特別集計を元に母子保健課にて作成)

年齢別にみた妊産婦死亡率(出産十萬対)

(平成14 - 23年の10年間の累計)

単位 件/出産十萬対



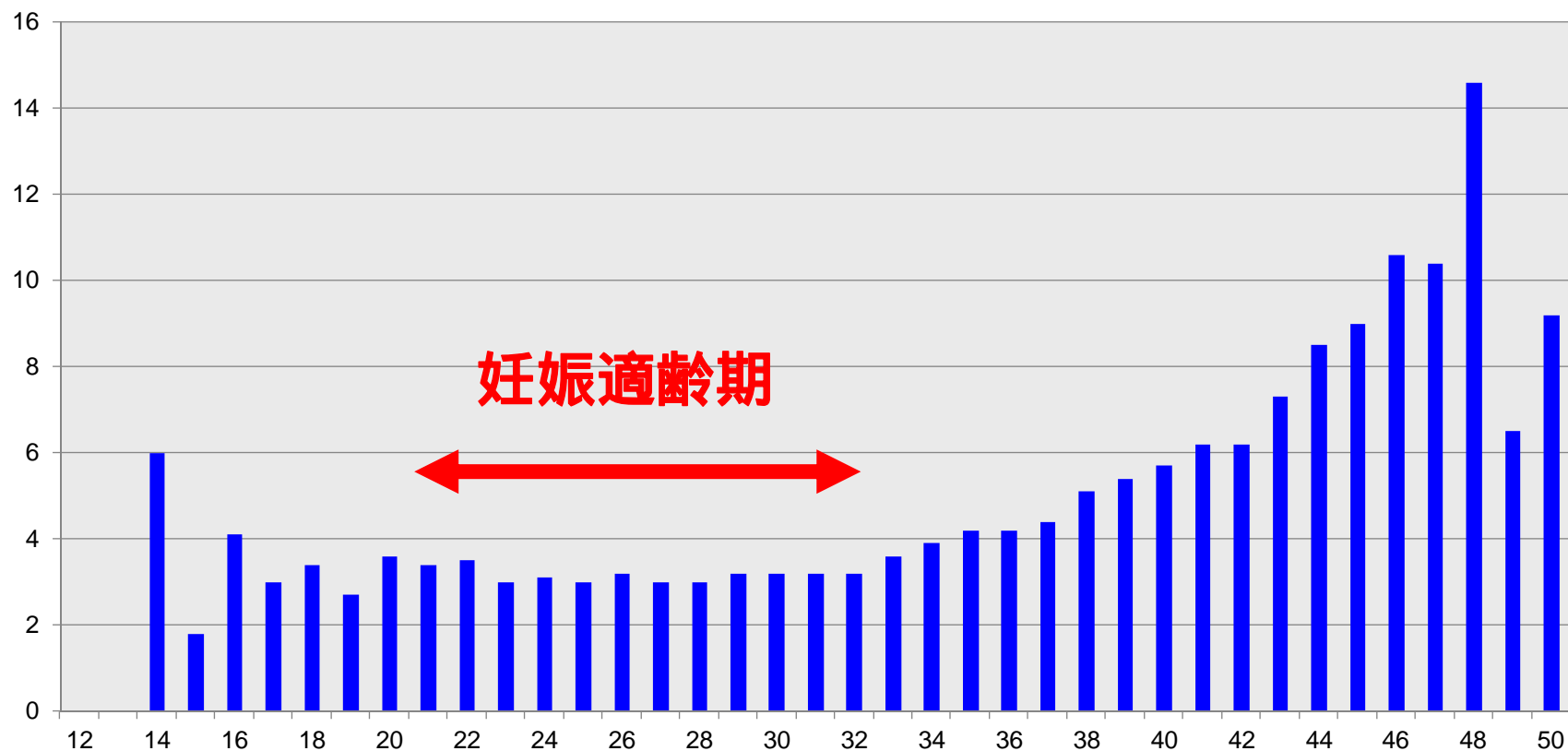
注: 1) 妊産婦死亡は、妊娠中又は妊娠終了後満42日未満の死亡で、妊娠の期間及び部位には関係しないが、妊娠もしくはその管理に関連した又はそれらによって悪化したすべての原因によるものをいう。ただし、不慮又は偶発の原因によるものを除く。
2) 妊産婦死亡率は、年間妊産婦死亡数の累計(平成14~23年)を年間出産数(出生数+妊娠満12週以後の死産数)の累計(平成14~23年)で割ったもの(出産十萬対)である。

(厚生労働省人口動態統計の特別集計を元に母子保健課にて作成)

年齢別にみた妊娠高血圧症候群の発症頻度

(n=21,262)

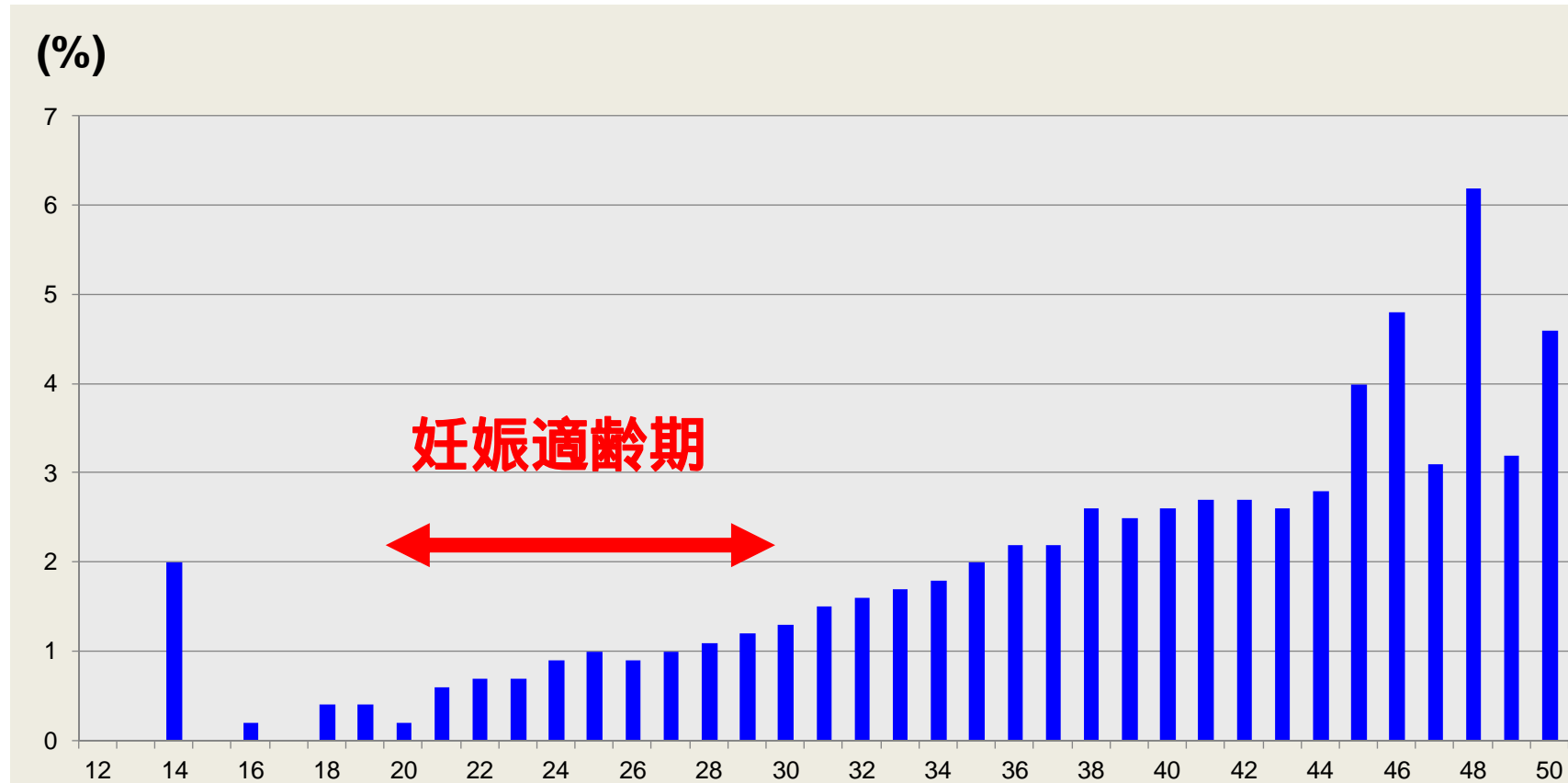
(%)



妊娠高血圧症候群は加齢に伴い増加し、
特に40歳を超えると急激に増加する傾向にある

年齢別に見た前置胎盤の発症頻度

(n=8,876)



前置胎盤は加齢に伴い増加する傾向にある

女性の年齢と子どもの染色体異常のリスク

母の年齢	ダウン症の子が生まれる頻度		何らかの染色体異常をもつ子が生まれる頻度	
	出生千対		出生千対	
20	1/1667	0.6	1/526	1.9
25	1/1250	0.8	1/476	2.1
30	1/952	1.1	1/384	2.6
31	1/909	1.1	1/384	2.6
32	1/769	1.3	1/323	3.1
33	1/625	1.6	1/286	3.5
34	1/500	2.0	1/238	4.2
35	1/385	2.6	1/192	5.2
36	1/294	3.4	1/156	6.4
37	1/227	4.4	1/127	7.9
38	1/175	5.7	1/102	9.8
39	1/137	7.3	1/83	12.0
40	1/106	9.4	1/66	15.2
41	1/82	12.2	1/53	18.9
42	1/64	15.6	1/42	23.8
43	1/50	20.0	1/33	30.3
44	1/38	26.3	1/26	38.5
45	1/30	33.3	1/21	47.6
46	1/23	43.5	1/16	62.5
47	1/18	55.6	1/13	76.9
48	1/14	71.4	1/10	100.0
49	1/11	90.9	1/8	125.0

妊娠適齢期



資料: Hook EB (Obstetrics and Gynecology 58:282-285, 1981)

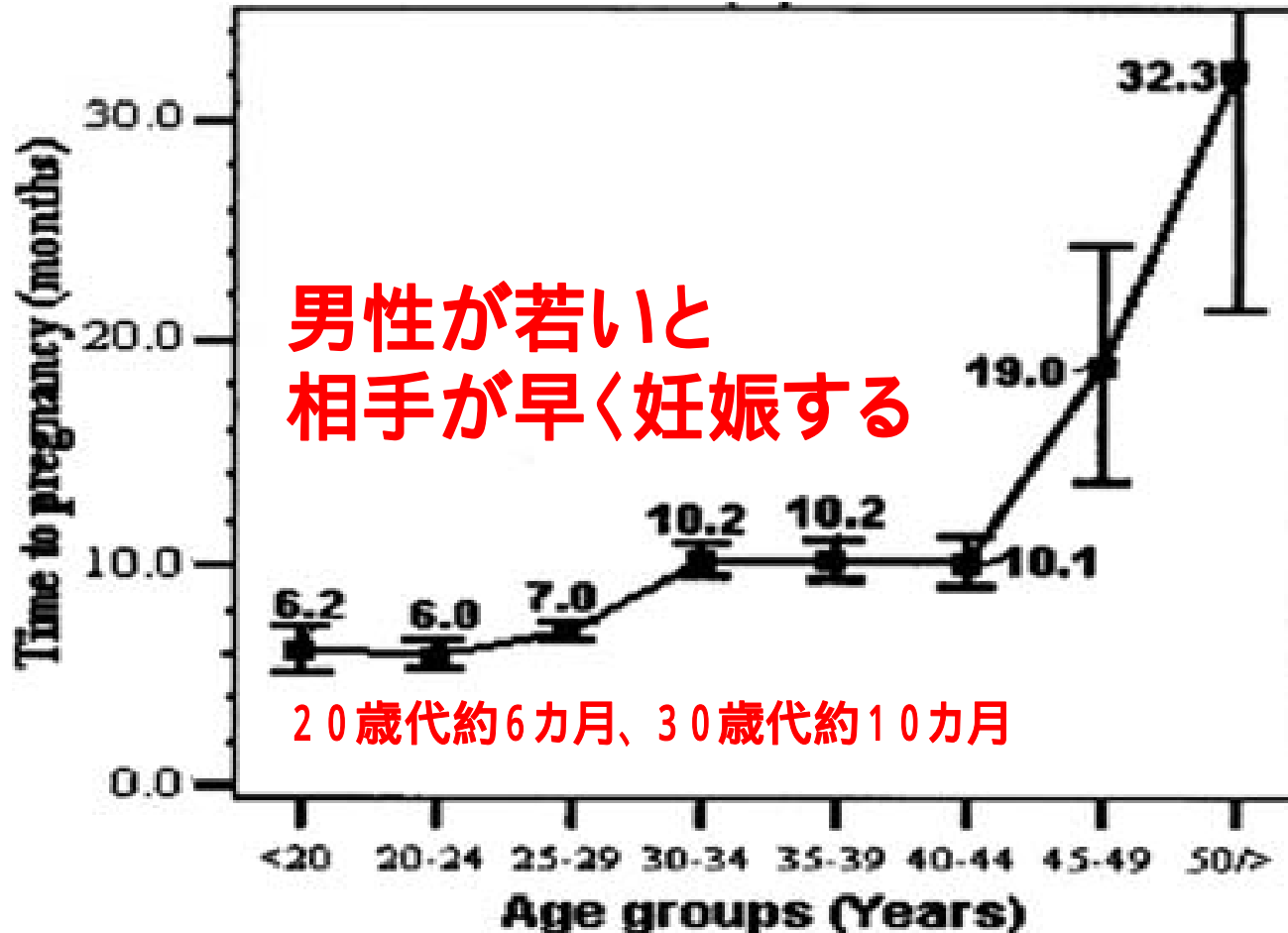
Hook EB, Cross PK, Schreinemachers DM (Journal of the American Medical Association 249(15):2034-2038, 1983)

を元に母子保健課にて作成

妊娠出産に適した時期

1. 女性の加齢と
妊娠する能力の変化
2. 母体の加齢と
妊娠後の合併症
3. 男性の加齢と
妊娠する能力の変化

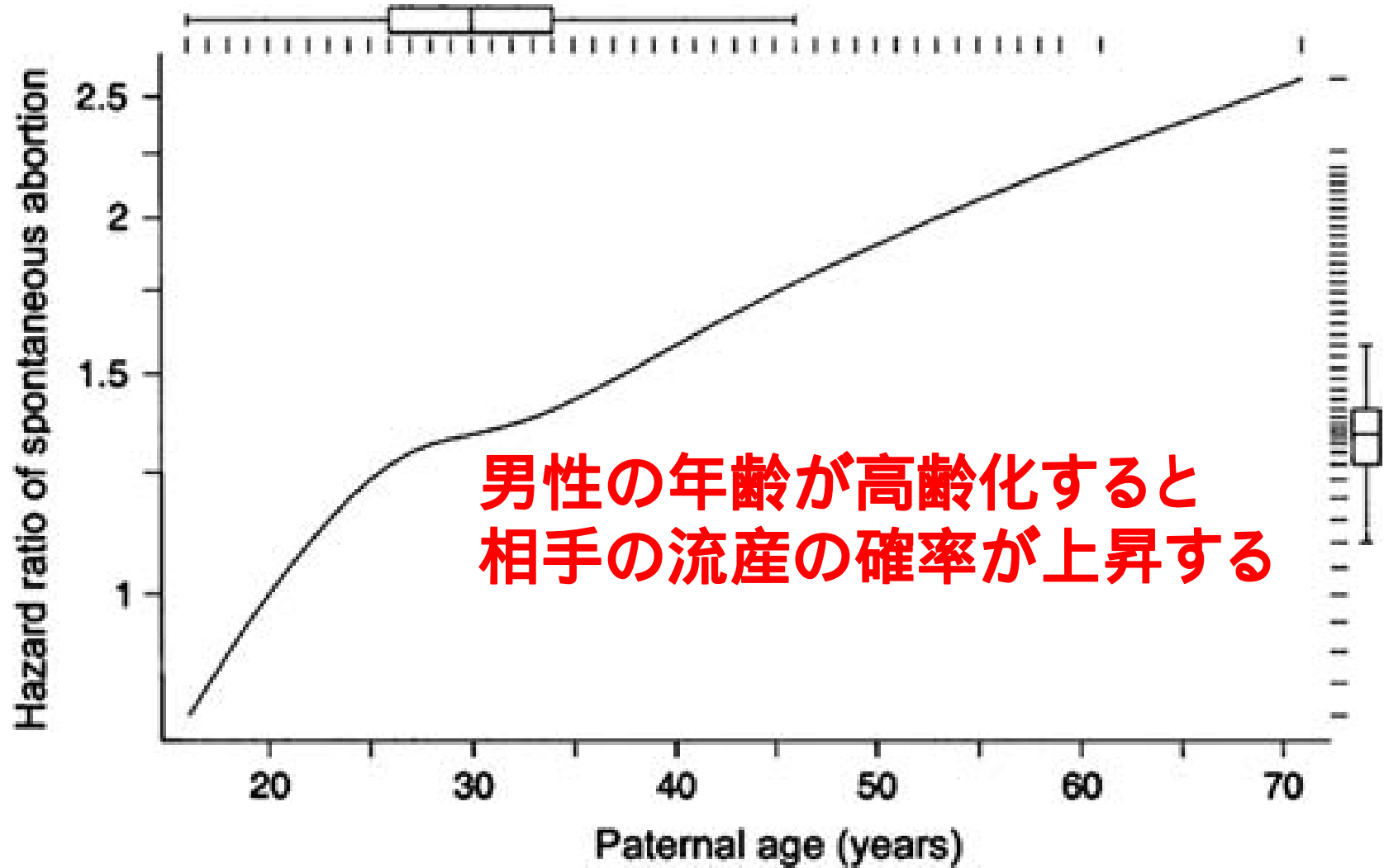
妊娠に至るに要する期間(月)



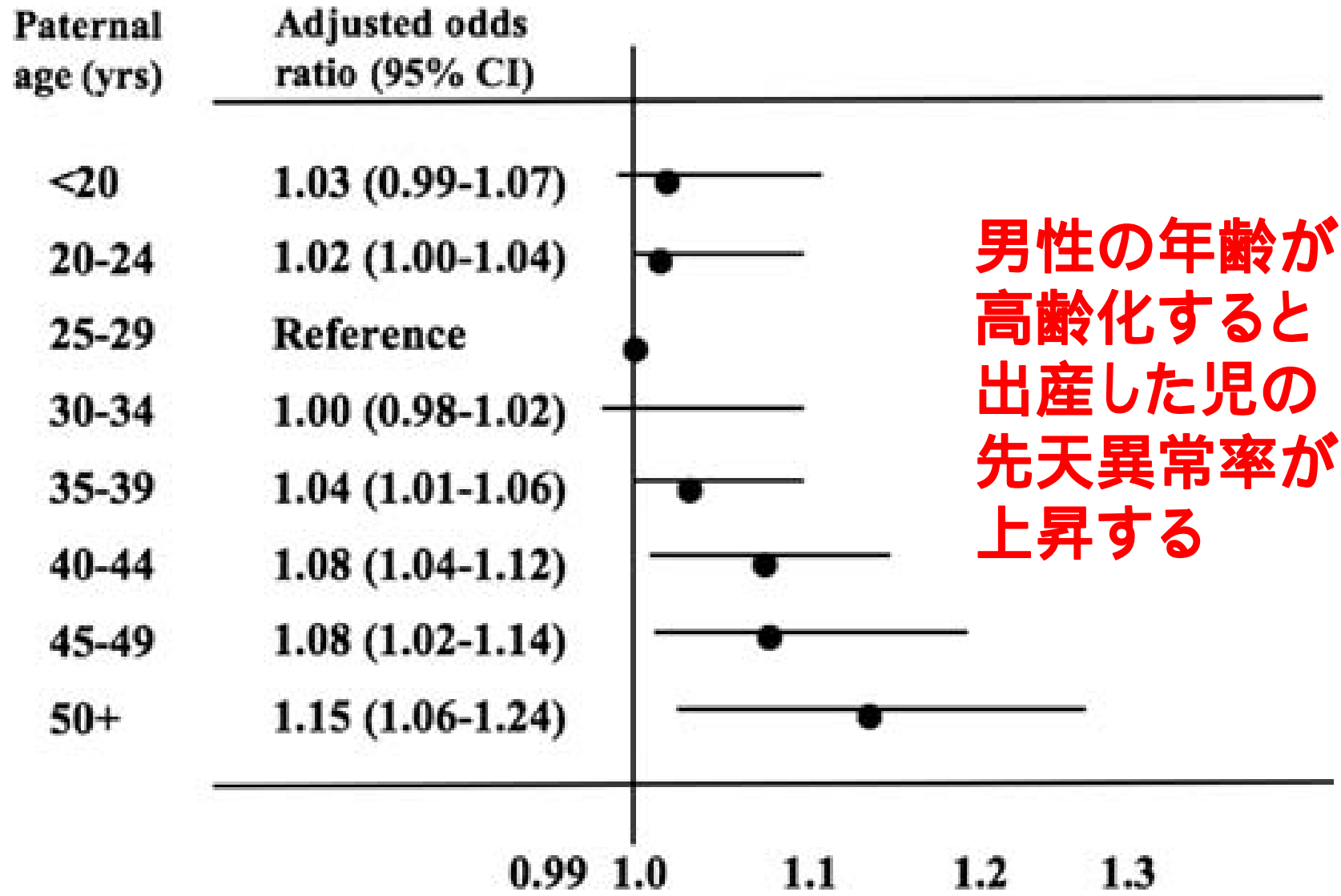
拳児を希望した時点での男性の年齢

Hum Reprod Update 16: 65-79, 2010

流産リスク



男性の加齢と先天異常



男性の年齢が高齢化すると
出産した児の
先天異常率が
上昇する

男性の加齢と精子の質の劣化

	40歳未満	40歳以上	両群の差
・患者数	107	41	
・精子濃度 (×10 ⁶ /mL)	95 ± 6	99 ± 58	無し
・精子運動率(%)	61 ± 14	58 ± 17	無し
・正常精子率	8 ± 2	7 ± 4	無し
・精子遺伝子の断片化 (%)	12 ± 8	17 ± 13	有り

J Assist Reprod Genet, On line 01 June, 2013

- ・精子の遺伝子の突然変異は1歳加齢するごとに2個増える。

Curr Opin Obstet Gynecol 2013; 25 :181-3

- ・高年齢な父親の子は精神疾患が増加する。

Am J Psychiatry 2013; 170: 599-608

Take-home message

**妊娠・出産・育児に
適した時期は20代**

**ヒトは男女とも加齢に伴い
妊娠する能力が減弱し、また、
妊娠中や分娩時のリスクや
出生児のリスクが増加します。**

体外受精などの不妊治療 の現状は？

年別 治療周期数 (治療数)

